

(法第28条第1項関係)

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 亀岡人と自然のネットワーク

1 事業の成果

今年度も琵琶湖淀川水系で唯一となったアユモドキ個体群の生息環境の保全、調査を中心に活動を行ってきた。

6月のラバー堰下流でのアユモドキ救出個体は、108尾（昨年生まれ（推定）が81尾、それより大きな親魚27尾）だった。昨年度の53尾を大きく上回り、2014年の3尾からの回復傾向が継続し、2012年の147尾に近づいた。秋の推定個体数調査の結果は、当歳魚896尾、1歳以上魚663尾であった。当歳魚は、昨年の1,592尾を下回ったが令和元年度以降の増加傾向を持続した。また、1歳以上魚は昨年の166尾から大きく増加した。今年度も、アユモドキの減少原因調査、増殖方策検討のため、桂川合流部と曾我谷川上流部で移動状況調査、生息地改善対策等を行った。当歳魚の回復傾向が1歳以上魚の個体数増加につながることを期待したいが、今後の推移を見守る必要がある。

特定外来魚の生息が確認されている安町大池とその上流の古池で、一昨年に外来魚駆除調査を行い、安町大池でオオクチバス387尾、古池でオオクチバス254尾、ブルーギル2033尾を駆除した。今年度は、古池で初めて水抜きによる駆除調査を実施し、大型のオオクチバス3尾と1万尾を超えるブルーギルを駆除することができた。現時点では、古池、五反田池の特定外来魚を一掃することができたと評価できる。

亀岡市等と連携してアユモドキなど自然環境保全に関する普及啓発活動を行った。令和元年に竣工したサンガスタジアムのアユモドキ飼育・啓発支援活動を継続している。

亀岡市内には希少種ヤマトサンショウウオが生息しており、3箇年に及んで夏原グラントの支援を得て調査・保全活動を行い、卵塊から幼生、幼体、成体に至る各成長段階の生態データを収集し、アライグマによる食害防除対策として設置した隠れ家の効果を確認することができた。

アユモドキ生息域とその周辺では、公園整備や圃場整備、道路、河川改修事業が計画及び実施されている。今後も人と自然の共生を進めるため、アユモドキなど希少種の生息環境保全に取り組んでいきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	当該事業の 実施日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の金額 (概算) (単位：千円)
(1)野生生物、 生態環境等に 関する調査	口丹波地域アユモドキ保 全回復事業	令和4年5月16日 ～ 令和5年3月24日	曾我谷 川周辺	200人	京都府民 260万人	2,010
	希少種の保全 ヤマト サンショウウオの生息 環境保全事業	令和4年4月2日 ～ 令和5年3月26日	亀岡市 内	30人	亀岡市民 9万人	400

(1)野生生物、生態環境等に関する調査	アユモドキ繁殖環境整備	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	亀岡市内	30人	京都府民 260万人	855
	ため池排水事業	令和4年11月1日 ～ 令和5年3月24日	亀岡市内	50人	京都府民 260万人	873
	その他生態系保全事業	令和4年10月1日 ～ 令和4年12月25日	亀岡市内	30人	亀岡市民 9万人	681
(2)野生生物、生態環境等に理解を深める啓発活動	普及啓発活動	令和3年7月1日 ～ 令和4年3月31日	亀岡市内	50人	亀岡市民 9万人	375